





特記仕様書

工事名称 国立文楽劇場外回り改修工事

独立行政法人日本芸術文化振興会国立文楽劇場部事業推進課			
課長	課長補佐	係長	担当
			

特記仕様書

I. 工事概要

1. 工事名称 国立文楽劇場外回り改修工事
2. 工事場所 大阪府大阪市中央区日本橋1丁目12番10号(国立文楽劇場構内)
3. 完成期限 令和3年3月19日(金)

4. 工事の種類規模等

a. 建物概要

棟名称： 国立文楽劇場
工 種： 建築工事(改修工事)
構造及び階数：鉄筋コンクリート造地上5階地下2階
建築面積： 3,925㎡
延べ面積： 13,211㎡
防水改修：3階陸屋根、屋階陸屋根
外壁改修：全周(ただし2階庇より下部)
外部建具：部分補修等
その他： 回廊各部補修

b. 工事概要

防水改修

3階陸屋根部分、屋階陸屋根部分の防水改修、その他

外部改修

1) 外壁改修

2階以下(庇より下部)の外壁タイル張りについて、ひび割れ部、浮き部及び欠損部等の改修、打ち継目地、伸縮目地のシーリング材を更新、その他

2) 建具改修

2階以下(庇より下部)の建具周囲シーリング(外部のみ)更新、1階東側の鋼製建具腐食部を撤去・補修、その他

3) その他

回廊の床、格子、天井、庇裏(回廊外部分を含む)の洗浄・コーティング実施、各部取合いシーリング更新、その他

c. 工期

- (1) 完成期限は、令和3年3月19日とする。

(2) b. 1) の内、振動音の発生する工事（タイル浮き部改修、タイル欠損部の研り補修工事）については、令和2年12月1日から2日までの間、令和2年12月4日から25日までの間、令和2年12月29日から31日までの間、並びに令和3年2月15日から19日の公演等が無い日に限り、実施できるものとする。

(3) 外部足場、外部階段及び仮設通路の設置並びに撤去については、次のとおりとする。

- 現場説明書別図により、指定された部分（南面から西面通用口）を除き、令和2年11月30日以前に設置することができる。作業開始日は監督職員との協議により決定する。

II. 総則

この工事の受注者は、文部科学省発注工事請負等契約規則（平成13年文部科学省訓令第二十二号）別記第一号の工事請負契約基準（準用）、現場説明書、特記仕様書（A4判（別紙のみA3判））7枚（表紙及び別紙を含む）、図面（A3判）11枚、公共建築改修工事標準仕様書（統一基準）（建築工事編）（平成31年版）及び工事写真撮影要領に基づき工事を施工する。

特記された材料、製造所、製品名、施工業者等の取扱いは、特記されたものまたは同等品以上のものとする。ただし、同等品以上のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。

III. 一般共通事項

1. 施工条件

振動音の発生する工事（タイル浮き部改修、タイル欠損部の研り補修工事）については、令和2年12月1日から2日までの間、令和2年12月4日から25日までの間、令和2年12月29日から31日までの間、並びに令和3年2月15日から19日の公演等が無い日に限り、実施できるものとする。その他の工事については、工事完成期限までに完了させる。

2. 環境への配慮

本工事は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）」に基づく機材等を使用すること。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議すること。

3. 施工前調査及び確認

本工事の施工については、早期に外壁の詳細な劣化状況を確認する。確認した内容をまとめた施工前調査報告書を提出し、監督職員の承諾を受けたのち工事を施工すること。

また本工事は、本劇場内部での居ながら施工となるため、特に音や臭いが出る工事については、本劇場の業務日程や内容について十分に熟知し、事前に現地確認の上施工

を行うこと。工事施工中の音や臭いが本劇場業務に支障をきたす場合は、工事の中断を依頼することがある。

4. 養生

外壁仕上げ材料の撤去・搬入時及び施工時は、騒音及び落下防止対策として本工事施工範囲について、全面防音シート養生とすること。

5. 撤去及び補修

既設外壁タイル破損部の補修は、可能な限り現状のままとするが、破損が大きく安全性問題のあるもの、あるいは美観の維持に不適切なものについては監督職員と協議のうえ撤去する。撤去後の補修については支給品として提供する外装タイルを使用し、その他の仕上げ材については、監督職員と協議の上、既存の仕上げ材に基づいた補修を行うこと。

6. 発生材の処理等

受注者の負担により、関係法令に従い適切に処理すること。

7. 完成時の提出図書

工事完成後提出する完成図等の種類及び提出部数は下記による。

- CAD データ 1 部 形式 JWW

8. その他

- 道路占有許可に関する関係官署に対する手続きは、監督職員の承諾のうえ受注者において行う。
- 本工事の施工にあたり設計図書に明記されていない詳細な事項については、監督職員との協議によること。

IV. 仮設工事

1. 足場等

- 外部足場の周囲は、全面防音シートで覆う。

2. 資材の搬入、搬出等

- 西面北側角地に本劇場 3 階屋上までの外部階段を 1 カ所以上設置し資材搬入及び工事関係者用の進入路とする。
- 外部仮設足場以外の材料で撤去材を含めた運搬は、既設 E V を利用できるものとする。
- 資材搬入搬出経路には、養生を行うこと。
- 既設 E V を利用した資材の搬入開始可能日は、令和 2 年 1 2 月 1 日以降の公演等のない日とする。
- 足場架設に支障となる幟旗、提灯などの工事範囲内の飾りつけについては、施工者の負担により専門知識のあるものに取外し・保管・再取付を行わせる。

3. 警備員の配置

- 外壁改修による前面道路占有許可期間中は、道路部へ警備員 2 名～4 名を配置する。
- 警備員の配置人数
工事施工による周辺への影響が特に大きい期間
計 20 日（日曜、祭日を含む）
通常の工事施工期間
計 20 日（日曜、祭日を含む）

V. 防水改修工事

1. 防水改修

既存のアスファルトシート防水はすべて撤去する。

防水下地となるコンクリート面、塩化ビニルシートの表面は高圧洗浄により塵・埃等を除去後クラック等の破損部分を補修する。

防水改修に用いる工法

- 高強度形ウレタン塗膜防水通気・緩衝工法（フッ素樹脂系保護塗料仕上）：防水改修 A と図示した部分
サラセーナタフガイ AV AZEZ 45 T J フッ素工法、または同等品
- 高強度形ウレタン塗膜防水密着工法（フッ素樹脂系保護塗料仕上）：防水改修 B と図示した部分
サラセーナタフガイ SD-AZEZ 25 T J フッ素工法、または同等品
- 防水仕様…高強度形ウレタン塗膜防水密着工法（フッ素樹脂系 遮熱型 保護塗料仕上）：防水改修 C と図示した部分
サラセーナタフガイ ESSD-AZEZ 25 T J フッ素サーモ工法、または同等品
防水改修に用いる工法の工程・塗布量その他については製造所の仕様による。

新設防水層立上り部端部と既設仕上との取合い部には必要に応じてウレタンシーリング 10×10 を施す。

VI. 外部改修工事

1. 外壁改修（二丁掛タイル張り仕上げ）

- ひび割れ部改修工法は、樹脂注入工法（自動式低圧樹脂注入）とする。
- 欠損部改修工法は、タイル部分張替え工法とする（張替えに要する外壁タイルは支給する）。
- 浮き部改修工法は、アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法とする。

アンカーピンニングの固定部及び注入口は、本特記仕様書 別紙（タイル仕上げ面仕様）グリッドに基づいて施工する。）

- 外部打ち継ぎ目地・伸縮目地補修
既設ポリサルファイド系シーリング（25×10）を撤去し、新規に打ち替える。

2. 建具改修

- 自動ドアエンジン
製造所名：ナブコドア㈱
- 外部建具廻りシーリング補修
既設ポリサルファイド系シーリング（15×10）を撤去し、新規に打ち替える。

3. その他

回廊部の各部クリアコーティングに用いる工法

- 床タイル
御影石クリーナー（GS-101）による洗浄・ビアンコートB（ノンスリップ強化）の組合せ
- 大型アルミ格子表面
アルミクリーナー（AS-101）による洗浄・ビアンコートM（BC-101M）の組合せ
- 鋼板天井
洗浄剤（BJ-2000）による洗浄・ビアンコートM（BC-101M）の組合せ
- 庇軒先金物
アルミクリーナー（AS-101）による洗浄・ビアンコートM（BC-101M）の組合せ
いずれも㈱ビアンコジャパンの責任施工とする。
- アルミ大型格子取合いシーリング補修
回廊部のアルミ製大型格子取合い部の既設変成シリコンシーリング15×10を撤去し、新規に打ち替える。シーリング施工に先立ちビス欠損・脱落部は新たにビス締め付け等により補修する。
- 軒先金物廻りシーリング補修
2階庇及び屋上屋根軒先金物取合い部の既設変成シリコンシーリング15×10を撤去し、新規に打ち替える。
- 植栽保護柵塗替
耐候性塗料塗り（DP）B種とする。塗装工程等は〈7.8.3〉 亜鉛めっき鋼面耐候性塗料塗りによる。
保護柵塗替の下地調整は亜鉛メッキ面RBとする。
錆止めペイントの種別はB種とする。

アンカーピンニング（タイル仕上げ面仕様）グリッド

タイル目地グリッド（二丁掛タイル 225 × 60 × 2 枚）

グリッド寸法 235 mm × 140 mm

タイル目地へアンカーピン及び注入口を配置する。

